

## 編集後記

今月号は、情報化施工、ICT技術、自動化・ロボット化、自動制御を特集しました。今や、これらの技術は建設施工や建設機械において一般化された技術となりつつあり、他の特集号においても、これらの技術を活用した事例の報文が多く掲載されています。

そのため、本号ではこれらの新技術の部分に焦点を当て紹介するよう心掛けました。また、関連して現在注目されている災害対応の取組みについても施工事例を含み紹介しました。

巻頭言は、建設業は徹底的にロボット化に取組むべきであるとの考えをお持ちの、公益財団法人リバーフロント研究所の竹村公太郎代表理事にお願いしました。その中で、「日本社会では、私たちの労働を引き受けるロボットたちが次々と誕生していく。日本人と限りなく良い関係を築いてきたこのロボットたちが、未来の日本人を支えてくれる。」と述べられています。

昨今の日本においては、建設施工に関係する技術者は施工管理や建設重機に関する知識にとどまらず、ICT技術など他業界の技術やその活用についての識見を持ち、建設施工や建設機械に組入れて情報化施工

や自動化などの機能向上を目指すことに奮闘しています。

また、同時に施工で得られる情報を現場で実務にたずさわる技術者の判断の高度化に利用する取組みや、工事記録として保管する取組みも実施されるようになってきました。

このような取組みは、製造業では以前から当たり前に行われ、品質の維持・向上や作業の効率化・合理化を進めるために重要な役割を果たしてきましたが、建設業においては、やっと本格的に取組むようになってきたという段階かと思っています。

今後、建設業界でこのような取組みが更に広範囲で積極的に進み、生産システムとして機能するようになれば、厳しい自然環境と社会条件の中で行われる建設現場も、従事する誰もが施工を楽しみながらプライドを持って働くことができる魅力ある職場に変貌し、建設業の若者離れにも歯止めがかかるのではないかと考えています。

そして、そこには建設施工を支える多くのロボットたちの活躍があるはずです。

最後になりましたが、お忙しいなか快く執筆を引き受けていただきました執筆者の皆様に、心から御礼申し上げます。

(篠原・野元)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	塚原 重美
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### オブザーバ

山下 尚 国土交通省

### 編集委員

桑原 一登	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
原口 宏	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
岡崎 直人	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
船原三佐夫	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
川西 健之	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
野元 義一	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

### 12月号「建設施工の地球温暖化対策、環境対策特集」予告

- ・建設施工に係る地球温暖化対策
- ・建設機械の排出ガス規制
- ・工事現場におけるCO<sub>2</sub>削減量の見える化(環境家計簿)の取組
- ・マイニング市場の動向と機械の電動化
  - ・マイニング用トローリー式ダンプトラックと電動式油圧ショベル
- ・大規模盛土工事にバイオディーゼル燃料B100を使用
- ・低炭素施工システム“TO-MINICA” 2020年に1990年比40%削減を目指して
- ・低炭素型のコンクリート「クリーンクリート」の各種構造物への適用
- ・遮熱性舗装・パーフェクトクルの開発
- ・天然由来の重金属を含むトンネル掘削土の環境対策
- ・排ガス長期規制適合機に対する燃料・オイルについての問題・注意
- ・2011年および2014年排ガス規制対応
- ・スクラビング・フローテーションを用いた土壌洗浄法による放射性物質汚染土壌の効率的な浄化と減容化
- ・油圧ハンマにおける打撃音低減の試み

## No.753「建設の施工企画」 2012年11月号

[定価] 1部840円(本体800円)

年間購読料9,000円

平成24年11月20日印刷

平成24年11月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX 03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp

担当 本社編集部 宗像 敏